

<<令和元年度長期研修生 研修主題一覧>>

県総合教育センター研修企画部
(勤務校は令和元年度)

番号	研修区分	研修分野	氏名	勤務校	研究主題
1	教科等	国語	小松代 絵里	習志野市立大久保小学校	書くことの学習指導における深い学びの実現 ー習志野検定本作りを通してー
2	教科等	国語	木村 尚史	我孫子市立我孫子第一小学校	長編の文学を楽しむ読者の育成 ー地域文学を語り合う上橋菜穂子「守り人シリーズ」の読書会ー
3	教科等	国語	今井 貴子	大網白里市立大網小学校	低学年の語彙指導 ー国語科及び他教科の指導を生かしてー
4	教科等	国語	迫田 直哉	木更津市立請西小学校	見方・考え方を育て機能的に言語運用する語彙指導の研究 ー継続した言葉の収集と個人文集作りを通してー
5	教科等	国語	鶴岡 優貴	いすみ市立大原中学校	地域社会に参加する言葉を学ぶ学習指導の研究 ー大原はだか祭りに関する「聞き書き」を中心にー
6	教科等	社会	野田 貴志	市川市立鬼高小学校	「深い学び」につなげる「対話的な学び」を意識した探究的な学習の在り方
7	教科等	社会	多田 善光	東庄町立笹川小学校	主権者意識を育てる社会科指導の在り方 ー学校統廃合から見える地域の課題を考える学習を通してー
8	教科等	社会	村上 健輔	茂原市立五郷小学校	社会的事象を多面的・多角的に捉える力を育てる社会科学学習の在り方 ー地域素材「天然ガス」の教材開発を通してー
9	教科等	社会	山下 剛史	館山市立北条小学校	歴史的な見方・考え方を働かせ、未来の創り手としての資質・能力を育成する 小学校社会科学学習の在り方 ー中央史と地域史を往還する学習過程の構築ー
10	教科等	社会	片桐 庸至	八千代市立萱田中学校	中学校公民的分野における社会参画の意識を高める授業づくり ー「八千代市における外国人労働者との共生社会を目指して」の単元を通してー
11	教科等	社会	野村 優太	市原市立加茂中学校	歴史理解と見方・考え方を育成する中学校歴史学習 ー2つの学習問題を設定した単元開発を通してー
12	教科等	算数	高橋 朋彦	君津市立周南小学校	算数の学習を日常生活で活用できる力の育成 ー課題解決を意識した教材づくりと問題づくりに関連づけた単元構成ー
13	教科等	数学	浅沼 克俊	流山市立常盤松中学校	目的に応じて表現方法を選択できるようにするための「比例と反比例」の指導 ー題材の精選、ふきだしの活用、伝え合う活動に着目してー
14	教科等	数学	齊藤 崇	袖ヶ浦市立蔵波中学校	表現力を高めるための図形の証明指導 ーフローチャートの考えに基づいた図の活用を通してー
15	教科等	理科	中野 誠二	船橋市立若松小学校	食塩水が均一のままであることを納得させる授業の開発 ー小学校第5学年「もののとけ方」の指導を通してー
16	教科等	理科	水田 裕一	銚子市立本城小学校	第6学年「電気の利用」において風力発電を題材にして日常生活と理科学習との関連を見いださせる授業開発
17	教科等	理科	高松 真人	山武市立山武北小学校	地層学習における空間認識能力の育成に関する実践的研究 ー小学校第6学年「土地のつくりと変化」の学習によるパノラマ教材の活用ー
18	教科等	理科	清原 諭高	市川市立第五中学校	生物多様性の実感と学習意欲を向上させる教材・教具の開発 ー中学校第3学年「自然界のつながり」での実践を通してー
19	教科等	理科	伊勢崎 慧	銚子市立第五中学校	「電流とその利用」における有用感を高める授業の開発 ー教科等横断的な視点を取り入れた授業実践ー
20	教科等	理科	谷野 研	佐倉市立臼井南中学校	実社会との関連性を見だし、生徒の意思決定を促す理科学習 ー「自然と人間」における関わりを重視した印鑑沼学習の教材開発ー
21	教科等	生活	山下 奈美子	浦安市立入船小学校	生活科における深い学びを確かなものにするための効果的な指導のあり方 ー児童の思考を方向づけ、活性化させるための表現活動の設定ー
22	教科等	生活	井上 春江	香取市立佐原小学校	深い学びを生む生活科の授業づくり ー学習内容・方法の工夫と対話の促進・気付きの質の高まりの関係に着目してー
23	教科等	音楽	志田 輝美	白子町立南白亀小学校	ふるさとのよさを実感しながら郷土の音楽と主体的に関わる児童の育成を目指した指導の 在り方 ー郷土の基盤を総合的に捉えた教材開発を通してー
24	教科等	音楽	岩上 真弓	県立千葉商業高等学校	高等学校における国際理解を視野に入れたアジアの諸民族の音楽についての教材化に 関する研究 ー生徒の実態を伴った音楽体験をめざしてー
25	教科等	美術	國貞 李絵	柏市立豊四季中学校	表現したいことを明確化するデザインの指導 ーデザインシンキングから主題を生み出す活動を通してー
26	教科等	体育	山田 稔	松戸市立八ヶ崎小学校	ボール運動「ゴール型」における思考力、判断力、表現力を高める指導法の追求 ー児童の思考に合わせた深い学びを実現する教師の在り方ー
27	教科等	体育	石毛 勝之	旭市立中央小学校	誰もが得点をとる楽しさを味わうボール運動「ゴール型」の指導の在り方 ーラグビーのオフenseに焦点を当てた指導を通してー
28	教科等	体育	喜多原 直哉	いすみ市立東小学校	ネット型ゲームへつながる「フロアヒットボール」の学習指導の在り方の検討 ー「コーディネーション能力」と「思考力、判断力、表現力等」を育む学習過程の工夫に着目してー
29	教科等	技術・家庭	白井 隆太	南房総市立白浜中学校	技術に関連付けて捉える見方・考え方の育成 ーカイコ飼育を軸とした照明器具の製作を通してー
30	教科等	小学校外国語	棚橋 寛子	船橋市立葛飾小学校	他教科に関連した授業による語彙や表現の定着 ー算数を英語で他学年に教える実践を通してー

番号	研修区分	研修分野	氏名	勤務校	研究主題
31	教科等	小学校外国語	小泉 沙紀子	柏市立柏第三小学校	他教科を英語で学習する活動は、児童にどのような影響を与えるか —内容言語統合型学習（CLIL）の実践を通して—
32	教科等	外国語	河瀬 農	八千代市立睦中学校	即興で「やり取り」できる力を育成する帯活動の開発 —Small Talkでつなぐ小中の英語指導—
33	教科等	外国語	庄司 真紀子	船橋市立三山中学校	考えをまとめて整理し、スピーチにつなげるための活動の工夫 —思考ツールを活用して—
34	教科等	外国語	小井戸 雄大	香取市立小見川中学校	言語知識を土台に伝えたいことがスピーチできるようにする指導過程の構築 —豊富なインプットと練習を使用場面と関連付けて—
35	教科等	道徳	河田 光輔	鎌ヶ谷市立西部小学校	児童が考えを深める道徳科の授業づくり —発問構成と書く活動の工夫—
36	教科等	道徳	大川 珠代	香取市立津宮小学校	道徳的判断力を高める指導の工夫 —現代的な課題を取り上げた教材開発と授業実践を通して—
37	教科等	道徳	佐藤 範子	茂原市立東郷小学校	高学年における「相互理解、寛容」の心を育てる道徳教育プログラム —あなたとわたし「ちがうけど同じ」をみつけよう—
38	教科等	道徳	佐藤 由美子	館山市立船形小学校	児童の主体的な学びを促す道徳教育の実践的研究 —中学生に向けて「なりたい自分」を意識した総合単元的道徳学習を通して—
39	教科等	総合的な学習の時間	田嶋 佑基	松戸市立矢切小学校	児童のプログラミング的思考の育成 —総合的な学習の時間におけるプログラミング教育の授業開発を通して—
40	教科等	特別活動	伊藤 麻奈美	松戸市立大橋小学校	多様な他者と協働する力を育む授業 —演劇的な手法を取り入れた実践プログラムの作成—
41	教科等	特別活動	北田 紘也	流山市立緒ヶ崎小学校	帰りの会におけるリフレクションから考える特別活動の在り方 —人間関係形成をねらいとした実践プログラム—
42	教科等	学校人権教育	石橋 博和	船橋市立大穴北小学校	「ネットいじめ」防止のための人権教育プログラム開発 —人権感覚に着目したネット上コミュニケーション力の向上—
43	教科等	現代的 教育課題	金子 直也	船橋市立塚田小学校	第5学年算数科における小学校プログラミング教育の実践と効果
44	教科等	現代的 教育課題	多々納 絵里	野田市立南部小学校	幼児期の学びを生かした小学校における指導の在り方
45	教科等	現代的 教育課題	石井 彩	浦安市立高洲中学校	「見方・考え方」を育てるICT活用に関する研究 ～中学理科における科学的な探究活動を通して～
46	特別支援教育	知的障害	大川 木綿子	県立野田特別支援学校	知的障害特別支援学校教師の身体の動きに関する気付きとその支援
47	特別支援教育	知的障害	谷口 貴啓	県立富里特別支援学校	知的障害のある児童生徒への自立活動の在り方 —構造化した自立活動指導ツール（不適応行動）を用いた個別学習—
48	特別支援教育	肢体不自由	中西 荘祐	県立桜が丘特別支援学校	重度重複障害を有する児童が人との関わりを深める道徳実践 —障害の状態等に合わせた目標と生活に結びついた体験活動を通して—
49	特別支援教育	発達障害	鈴木 あやか	茂原市立西小学校	適切な行動を増やし、問題となる行動を減少させる支援について —ABC分析の考え方を取り入れたリーフレットの作成・活用を通して—
50	特別支援教育	インクルー シブ教育	森 英則	成田市立平成小学校	効果的な交流及び共同学習の在り方についての考察 —招く形態の授業実践を通して—
51	特別支援教育	インクルー シブ教育	糸井 順子	市川市立須和田の丘支援学校	自他ともに大切にできる集団作りのための支援方法の工夫 —インタビューを基にしたリーフレットの活用を通して—
52	特別支援教育	インクルー シブ教育	能登谷 可子	県立千葉特別支援学校	障害者スポーツを主とした交流及び共同学習（学校間交流）の在り方について —「心のバリアフリー」の意識を高めるために効果的な授業モデルの構築—
53	特別支援教育	特別支援 教育課題	坂井 祐介	習志野市立第三中学校	通常の学級における姿勢指導に関する研究 —RTIモデルに基づいた三層構造の指導プログラムの開発と実践—
54	特別支援教育	特別支援 教育課題	加瀬 恵	県立千葉聾学校	「本人の願い」を踏まえたキャリア発達支援の在り方に関する研究 ～個別的教育支援計画に焦点を当てて～
55	特別支援教育	特別支援 教育課題	木内 学	県立仁戸名特別支援学校	病弱者である生徒に対するICTを活用した遠隔教育について —合理的配慮の観点からの同時双方向型授業形態の一考察—
56	教育臨床	教育臨床	佐竹 千尋	市川市立真間小学校	教師と児童生徒の信頼関係を築くコミュニケーションのあり方 —ミスコミュニケーションの事例から—
57	教育臨床	教育臨床	鈴木 博喜	市原市立加茂中学校	教師と児童生徒の信頼関係を築くコミュニケーションのあり方 —ミスコミュニケーションの事例から—
58	企業等派遣	企業等派遣	高石 哲男	県立東葛飾高等学校	企業から学ぶ業務効率化と高大接続の最先端
59	企業等派遣	企業等派遣	磯村 友希子	県立特別支援学校流山高等学園	生徒が新しい見方・考え方に気づき、学ぶことができる対話的学習の在り方 ～自立に必要なコミュニケーション能力の育成に向けて～
60	企業等派遣	企業等派遣	三浦 有香	県立特別支援学校市川大野高等学園	ウェザーニューズ社から学ぶ組織マネジメント —効果的な進路指導へのヒント—
61	企業等派遣	企業等派遣	峯島 康之	県立市原特別支援学校	中小企業の立場に立って知的障害者の就労を考える
62	企業等派遣	企業等派遣	渡邊 昭宏	県立飯高特別支援学校	教員一人一人が力を発揮できる職場環境づくりを企業の組織マネジメントから学ぶ
63	企業等派遣	企業等派遣	齋藤 千里	習志野市立谷津小学校	球団の組織マネジメントをこれからの学校経営に生かす
64	企業等派遣	企業等派遣	飯島 正己	香取市立小見川西小学校	企業の組織マネジメントに学ぶ学校経営
65	企業等派遣	企業等派遣	長竹 祐二	県立柏の葉高等学校	サッカークラブ「ジェフユナイテッド千葉・市原」の広報業務から学んだこと

- ・研修区分の教科等、特別支援教育、教育臨床については、教育コンテンツ・データベース「Wakaba」で閲覧することができます。
- ・千葉県総合教育センターWebサイトトップページ→学校支援／授業支援→学習指導案等で検索してください。

書くことの学習指導における深い学びの実現 —習志野検定本作りを通して—

習志野市立香澄小学校教諭（前習志野市立大久保小学校教諭） こまつしろ えり 小松代 絵里



1 研究主題

書くことの指導では、場における目的や相手、状況等の条件を勘案して効果的に書くことに課題があると指摘されている。そこで本研究では、市民の地域に対する愛着を醸成することを目的に、「習志野検定本」を書く場を設定した。①複雑な条件下で効果的に書く力を育成すること、②児童が想の展開に応じて行きつ戻りつできる回帰的な書くプロセスの設計・運営をすること。この2点を目指して単元を構築し検証授業を行った。

2 研究の実際

(1)解説の様式をもつ検定本を書く場

検定本とは、ある物事について一定の知識を有する読者に向けて書かれた、問いと答え、解説文を軸に成り立つクイズ解説本である。

検定本を書くためには、専門的な情報を読者の関心や理解の状態に応じて、精査したり加工したりする力が必要となる。条件に応じて、内容を詳細または平易にしたり、相手に応じて働きかける表現を工夫したり、細部までコントロールできる言語活動といえる。

(2)単元の実際（検証学年：4年生）

①記述前

書く内容を選ぶために、収集した資料を分類し、情報の重要度や関連が一覧できる表を作成した。そして、情報の希少性が高く、習志野市の魅力が読者に伝わることを条件に内容を選材していった。目的が明確なため、情報を細部まで読んで比べたり、重要な箇所を加工したりする力がついた。

②記述中

下書きが終わった児童に、字数の条件を示すことで、冗長性の高い情報を削ったり、

不足している情報を補ったり、個の学びの状態に応じてプロセスを回帰する状態を生んだ。また、表現を洗練するための類語表や、解説文の効果を高める書く技、複数の教師見本を個々の児童の進度や必要感に合わせて示した。これにより、再度情報の取材や選材を行ったり、話題数や一文の長さを調整したり、具体的な推敲を児童自身が学びを調整しながら行うことができた。

③記述後

市役所や商店街に検定本を展示していたき感想をもらった。児童は、学習が実際場で役立ったことに大きな有用感を感じていた。また、単元後に行われた「書くこと」の学習では、本単元で習得した情報を活用する力や効果的に書く力を意図的に使う姿が見られ、知識や技能の定着が伺えた。

3 研究のまとめ

複雑な条件のかかる「習志野検定本」の作成・発行を言語活動に設定し、回帰的な書くプロセスの設計・運営をしたことで、児童の言語や思考、情報操作の質を高めることができた。事前事後に同条件下で行った解説文を書く調査では、記述量の大幅な増加、記述内容の質の向上が見られた。

問題	習志野文化ホールに行ったことはありますか？津田沼駅の近くにあり、その席数はとても多いです。では、その席数はいったいどれくらいなのでしょう。ちなみに船橋市文化ホールの席数は1000席です。
	① 852席 ② 497席 ③ 1475席
解説	習志野市文化ホールの席数はなんと1475席で船橋市よりも多いです。ちなみに問題の②の答えは、実は千葉市文化ホールの席数です。（中略） 習志野市と船橋市の人口を比べると、船橋市は約635500人ほど、習志野市は約172600人ほどで、約462900人ほど船橋市の方が人口が多いことがわかります。習志野市の方が人口も市の土地の広さも船橋市より少ないのに、文化ホールの席数が多いということは、習志野が音楽に力を入れているということがわかります。（中略） 習志野第九合唱団は、文化ホールで年末にコンサートを行っています。そのコンサートにはなんと宮本市長も参加されているというのでおどろきです。1475席もの十分な席数に加えて、大きなパイプオルガンや、すぐれた音さよう設備も習志野文化ホールのみ力です。習志野第九合唱団は毎年公募で300名以上集まるので、みなさんも来年は参加してみたいかがてしょうか。

「文化ホールの秘密」をテーマに、8種類の資料を関連付けて解説文を書いた児童の問題文と解説文

障害者スポーツを主とした交流及び共同学習の在り方について －「心のバリアフリー」の意識を高めるために効果的な授業モデルの構築－

県立千葉特別支援学校教諭 ^{の と や} 能登谷 ^{よしこ} 可子



1 研究主題

学習指導要領（2017）においては、学校種を問わず交流及び共同学習の一層の取組の充実を図るよう規定されている。それに加え「心のバリアフリー」（以下、「心のバリアフリー」）に係る指導を充実することとしている。また、政府は平成29年2月に心のバリアフリーを実現するために行うべき施策として、「ユニバーサルデザイン2020行動計画」を示しており、そこでは教育における発達段階に応じた切れ目ない心のバリアフリーについて言及している。一方、現状として年度ごとに担当者が替わる、実施回数が限られているなどの課題がある。そこで、本研究では障害者スポーツを主とした交流及び共同学習を行い、児童生徒の心のバリアフリーの意識を高めるために効果的な授業モデルを明らかにすることを目的とし、本研究主題を設定した。

2 研究内容

(1)授業モデルの検証について

A特別支援学校の小・中学部の児童生徒と近隣の小学校（2校）、中学校（2校）の児童生徒を対象に、「交流及び共同学習授業構成要素図」（以下、「授業構成要素図」）（仮説）（図参照）を基に、障害者スポーツ（ボッチャ等）を主とした交流及び共同学習の授業を実施した。授業構成要素図とは、A特別支援学校で実施した交流及び共同学習の授業実践（過去3年分）における成果と課題、文献研究等から授業を構成する要素についてKJ法を用いて分類し、まとめたものである。

(2)効果の測定（小・中学校の児童生徒）

交流及び共同学習を行った小学校（2校）、中学校（2校）の児童生徒を対象に、授業実施前後の「交流の質」、「心のバリアフリーの意識変容」について質問紙調査を実施し、4段階尺度を用いて平均値を算出した。

3 研究のまとめ

障害者スポーツを主とした交流及び共同学習の検証授業を実施する前後で小・中学生の心のバリアフリーの意識変容が見られた。

これらの結果から、児童生徒の心のバリアフリーの意識を高めるために必要な授業づくりの四つの要素と九つの視点が明らかになり、授業構成要素図（図参照）を基にした、授業モデルの有用性が検証された。

また、小・中学校共に意識変容が見られたことから、学校種問わず、双方の児童生徒の実態に合わせて、柔軟に活用することも可能であると考えられる。

今後は、授業構成要素図を基にした授業実践を更に積み重ね、多様な授業展開を進める必要がある。

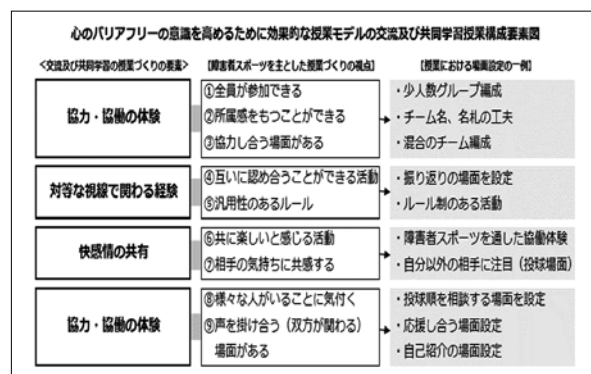


図 交流及び共同学習授業構成要素図